

# 茨城県の精神 医療保健福祉の 歴史を 語り継ぐ講座

" 毎月開催 "



## 第3回 精神科看護

テーマ「その行為は看護になっていますか。

真に患者や利用者の援けになっていますか」

～ 精神障がい者の処遇の不幸は何故、過去の歴史にならないのか～

講師 林 和功 氏 元県立友部病院看護局長

昨今、神戸の神出病院や八王子の滝山病院など、精神科病院における職員による患者虐待事件が顕在化しています。1984年に起きた「看護職員による患者撲殺」報徳会宇都宮院事件以降、40年近くが経過する中で再び起きた残虐事件への衝撃は言葉になりません。

しかし、今、何故、このような患者虐待事件が起きたのか、単に病院の問題に収めて済むことはありません。これまでの精神保健福祉の施策問題や人権に関わる事件を過去の出来事として、片付けてきたのではないのか。歴史的な継承を軽んじてきたのではないのか、が問われていると気づかされました。同じことを繰り返さないために、私たちが出来ることは・・・。

茨城県の精神医療保健福祉に関わる若手へと「茨城県における精神医療保健福祉の歴史を語り継ぐ」講座を設営して、諸課題を共有していく場をつくりだすこと。

先人たちはどのような諸課題にぶつかり、意見を交わし、人と連携してきたのか、そして今につながっているかを確認すること。

私たちが、アフターコロナの展望を描く、貴重な情報となると考えました。

講師は、精神科医療や地域福祉、保健福祉行政の分野の方々と、この企画に賛同し、力を結集していただきました。

第1回は、森戸久雄氏（元茨城県保健福祉部長）でした。第2回の講座は2024年3月に延期いたしました。

主催：NPO茨城県精神障害地域ケア一研究会

県内の精神医療保健福祉に関係する方々の出会いの機会として、ぜひとも参集下さい。

2023年  
8月25日（金）  
18:30～20:30

無料!

会場：精神保健福祉センター & ONLINE

参加申し込み・問い合わせ（担当：高島）

mail: [koufuukai-honbu@nifty.com](mailto:koufuukai-honbu@nifty.com)

電話：029-244-2623, 029-243-8595

申し込み記載事項：名前、連絡先（mail）、職種・所属  
参加形式【会場・online】